Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-SSRI-01
Project	**Open topic on supporting disruptive technological innovations for civil security** HORIZON-CL3-2026-01-SSRI-01
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 実証済みの革新的な技術を実際の運用に統合することで、備えの強化、エビデンスに基づくアプローチおよび対応能力の向上を図るとともに、多様な脅威によるリスクを軽減する能力を強化すること； ● 厳格な試験と検証を通じて障壁を低減し、行政機関、産業界、研究者間の連携を促進することで、革新的なソリューションの導入を加速させ、技術を現実のニーズに適合させる。 スコープ： 本トピックは、防災・安全対策における準備態勢、対応能力、およびリスク軽減を強化する研究・イノベーション活動を推進することにより、破壊的技術革新[1]の防災・安全対策への導入を支援することを目的としている。その主な焦点は、初期段階の技術成熟度レベル（TRL）が低い研究と、実用的なセキュリティソリューションとの間のギャップを埋めることにあり、新興技術が効果的に実運用へと移行されることを確保することにある。 提案においては、多様なセキュリティ上の脅威に対処しつつ、民間セキュリティ活動の効率性と有効性を向上させる、革新的な解決策を優先すべきである。これらの技術が堅牢で、信頼性が高く、拡張性があり、セキュリティ担当者のニーズに沿ったものであることを確保することに重点を置くべきである。これには、技術成熟度（TRL）の低いイノベーションを実用化へと導く体系的なプロセスを構築し、安全性、性能、相互運用性について厳格な試験および検証プロセスを確保することが含まれる。 これを達成するためには、提案において、研究者、行政機関、産業界のパートナー、およびエンドユーザー間の強力な連携を促進すべきである。こうしたパートナーシップは、技術の進歩と現実のセキュリティニーズとの整合を図り、革新的かつ実務的に有用なソリューションの共同開発を促進するものである。新興技術が倫理的に適切で、透明性があり、利用しやすいものであることを確保することも、その導入を成功させる上で極めて重要となる。 このテーマを通じて期待される成果としては、新たな安全保障上の課題に合わせた最先端技術の導入による備えの強化、リスク軽減能力の向上、そして破壊的イノベーションの民間安全保障の枠組みへの統合の加速などが挙げられる。プロジェクトは、協働的なエコシステムを育成することで、有望な研究が実用的なセキュリティアプリケーションへと効果的に移行するよう確保し、欧州全域において、より強靭で適応力のある市民セキュリティ体制の構築に寄与すべきである。 提案される研究・イノベーション活動が EU の長期的な戦略的優先事項と整合するよう、提案者には、関連する技術フューチャリング[2]を参照することが推奨される。 最後に、提案書には、「セキュリティ研究・イノベーション拠点の強化」の「はじめに」で示された、該当するすべての考慮事項が盛り込まれることが求められる。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトに期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 4～5 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。 [1] 本目標において、「破壊的技術革新」という概念は、技術成熟度（TRL）が低い、あるいは極めて低い（4 未満）段階から始まり、さらなる開発が進めば、例えば性能の大幅な向上やコストの削減などを通じて、現在の市民安全保障活動のあり方にパラダイムシフトをもたらす可能性を秘めた画期的な技術を指す。

	[2] 例えば、Conte, N., Maleville, A. d., Favino, R., Garcia Monreal, E., Montanari, E. ほか、『新技術に起因する EU の内部安全保障における新たなリスクと機会』、欧州連合出版局、2025 年を参照のこと。 https://data.europa.eu/doi/10.2760/9617320